

筑波大学大学院 人間総合科学研究群  
博士前期課程 教育学学位プログラム  
(教育基礎科学サブプログラム)

# 大学院進学説明会

2022年6月19日開催

**【令和5年度入試日程】**

☆10月実施：学力検査 2022年10月13日（木）、10月14日（金）

募集要項 公開中

募集要項サイト <https://www.ap-graduate.tsukuba.ac.jp/>

**【資料目次】**

1. 教育学学位プログラム(M)に関する概説資料・・・p. 1
2. 担当教員一覧（教育基礎科学サブプログラム分）・・・p. 4
3. 開設授業科目一覧・・・p. 6
4. ダブルディグリーについて・・・p. 12
5. 修士論文の題目（過去3年間，現教育学専攻）・・・p. 13
6. 進路・・・p. 14

■教育学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(教育学) [Master of Education]	
人材養成目的	人間の営みと社会の発展に対して教育がもつ意義と役割を体系的に理解し、地球的規模の広がりをもつ現代の教育課題を鋭敏に捉え、教育学諸分野の学術的アプローチを用いて分析する基礎的研究能力を有し、多様な教育現場において卓越した専門的知見をもって課題解決をリードすることのできる研究力のある高度専門職業人を養成する。	
養成する人材像	<p>上記の人材養成目的を踏まえ、育成する人材が活躍することが期待される場に応じた3つのサブプログラムを設置し、それぞれのサブプログラムで下記のような人材を養成することをもって、全体として上記の人材養成目的を達成することを目指す。</p> <p>① 国際教育サブプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の教育行政機関、学校、社会教育・生涯学習機関、NPO 等の教育関連組織等で教育活動や人材育成をリードする研究力のある高度専門職業人</li> </ul> <p>② 次世代学校教育創成サブプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の行政機関・国際機関や学校等において教育学の学術的アプローチを用いて教育政策の効果分析、政策形成、教育開発援助等に従事し、次世代の学校教育を構想し設計する研究力のある高度専門職業人</li> </ul> <p>③ 教育基礎科学サブプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の大学・研究機関等において教育学の基礎的・基盤的な諸分野の教育・研究に従事する研究者</li> </ul>	
修了後の進路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の大学・研究機関等</li> <li>・国内外の行政機関・国際機関等</li> <li>・国内外の教育行政機関、学校、社会教育・生涯学習機関、NPO 等の教育関連組織等</li> </ul>	
ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力	評価の観点	対応する主な学修
1. 知の活用力:高度な知識を社会に役立てる能力	<p>① 研究等を通じて知を社会に役立てた(または役立てようとしている)か</p> <p>② 幅広い知識に基づいて、専門分野以外でも問題を発見することができるか</p>	<p>Theory of International Education</p> <p>次世代教育開発研究</p> <p>教育学理論研究</p> <p>国語科リテラシー教育論 a</p>
2. マネジメント能力:広い視野に立ち課題に的確に対応する能力	<p>① 大きな課題に対して計画的に対応することができるか</p> <p>② 複数の視点から問題を捉え、解決する能力はあるか</p>	<p>Theory of International Education</p> <p>次世代教育開発研究</p> <p>教育学理論研究</p> <p>学校経営学特講</p>
3. コミュニケーション能力:専門知識を的確に分かりやすく伝える能力	<p>① 研究等を円滑に実施するために必要なコミュニケーションを十分に行うことができるか</p> <p>② 研究内容や専門知識について、その分野だけでなく異分野の人にも的確かつわかりやすく説明することができるか</p>	<p>Theory of International Education</p> <p>次世代教育開発研究</p> <p>教育学理論研究</p> <p>教育学研究 II</p>
4. チームワーク力:チームとして協働し積極的に目標の達成に寄与する能力	<p>① チームとして協働し積極的に課題に取り組んだ経験はあるか</p> <p>② 自分の研究以外のプロジェクト等の推進に何らかの貢献をしたか</p>	<p>Theory of International Education</p> <p>次世代教育開発研究</p> <p>教育学理論研究</p>
5. 国際性:国際社会に貢献する意識	<p>① 国際社会への貢献や国際的な活動に対する意識があるか</p> <p>② 国際的な情報収集や行動に必要な語学力を有するか</p>	<p>Theory of International Education</p> <p>次世代教育開発研究</p> <p>教育学理論研究</p> <p>Education and an Interconnected World</p>
6. 教育課題発見能力:教育の本質的意義を体系的に理解した上で、グローバルな現代の教育課題を捉える力	<p>① 先行研究を適切に踏まえた研究課題の設定ができるか</p> <p>② グローバルな視野から現代の教育課題を指摘できるか</p>	<p>Theory of International Education</p> <p>次世代教育開発研究</p> <p>教育学理論研究</p> <p>教育学研究 I</p>
7. 教育内容探究能力:多種多様な教育現場における教育内容を探究する能力	<p>① 教育行政機関や学校などの具体的な教育現場における教育内容を、適切な方法で探究できるか</p> <p>② 探究した教育内容の、教育学的な価値を説明できるか</p>	<p>Theory of International Education</p> <p>次世代教育開発研究</p> <p>教育学理論研究</p> <p>社会日本語論 I a</p>
8. 教育学的分析能力:教育諸分野の学術的アプローチを	<p>① 研究課題に対して適切な研究方法の選択ができるか</p>	<p>Theory of International Education</p> <p>次世代教育開発研究</p> <p>教育学理論研究</p>

用いて分析する基礎的研究能力	② 教育学に関する倫理的側面に十分な注意を向けて研究を進められるか	教育学研究Ⅱ 教学教育研究方法論 Research Design and Methods
9. 教育課題解決能力:教育諸分野の学術的アプローチを用いて分析する基礎的研究能力	① 教育行政機関や学校などの具体的な教育現場を想定し、適切かつ卓越した専門的知識を用いて課題を解決できるか ② 集団による教育課題解決においてリーダーシップを取るために必要な専門知識を理解できるか	Theory of International Education 次世代教育開発研究 教育学理論研究 教育学研究Ⅰ～Ⅲ
学位論文に係る評価の基準		
<p>以下の評価項目すべてを満たす学位申請論文を、本人出席の最終試験を経た上で修士論文として合格とする。なお審査委員は本学位プログラムの構成員からなるものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育の現実的問題に関する特定のテーマについての研究論文であること。</li> <li>2. 研究課題の設定が適切であること。</li> <li>3. 研究方法の選択が妥当であること。</li> <li>4. 先行研究を踏まえ、関連する引用文献、参考文献を明示していること。</li> <li>5. 確かな論拠に基づく考察がまとめられた研究論文であること。</li> </ol>		
カリキュラム・ポリシー		
<p>教育学学位プログラム（博士前期課程）では、学生が教育学研究者に必要な基礎的な知識と、多様な教育学諸分野の専門的な知識の双方を獲得しつつ、教育研究活動を展開することを通して汎用／専門コンピテンスを獲得できるよう、授業科目を〔基礎科目〕、〔専門基礎科目〕、〔専門科目〕の3つに大別してカリキュラムを編成する。また、第一種教員免許状を有している学生が専修免許状を取得する際に必要な科目を広範に設置することで、教育に係る高度専門職業人としての資格を獲得できるようにする。</p>		
教育課程の編成方針	<p>教育学研究者に必要な基礎的な知識と、汎用／専門コンピテンスを学生が獲得することを目的とする、学位プログラムの基盤となる科目を〔基礎科目〕として設け、必履修科目とする。</p> <p>また、学生が多様な教育学諸分野の専門的な知識を獲得し、研究課題を見出したり解決したりする方法を身につけることを目的とする科目を〔専門基礎科目〕として設け、育成する人材像の特質に応じて設置される3つのサブプログラム（国際教育、次世代学校教育創成、教育基礎科学）の要件を満たす形で設定される履修モデルに基づく選択科目とする。ここで、サブプログラムごとの履修科目を明示的に区分して示すのではなく履修モデルとして示すのは、従来の研究科や専攻等の枠にとらわれない学際的な研究分野に応じた履修を可能にするためであり、また複合的かつ重層的な今日的教育課題に対応できる人材を育成することを目的としているからである。加えて、他の学位プログラム（研究群内、他の研究群）の開設科目の受講により学際性のある学修を達成する。</p> <p>学生が多様な教育学諸分野に関する研究を実際に展開することを通して汎用／専門コンピテンスを獲得すること、その成果として修士論文を完成することを目的とする科目を、〔専門科目〕として設け、サブプログラムや履修モデルに基づく選択科目とする。</p>	
学修の方法・プロセス	<p>〔基礎科目〕については、学位プログラムのすべての学生が履修し、修得する。〔専門基礎科目〕と〔専門科目〕については、サブプログラムやさらに詳細な履修モデルに応じて履修し、修得する。他のサブプログラムや人間総合科学学術院に設置される他の学位プログラムはもちろん、他の学術院に設置される学位プログラムで開設される科目も専門性に応じて履修し、教育学の学際的な特性について深い理解が得られるようにする。</p>	
学修成果の評価	<p>各授業科目では、担当教員が厳正な教育評価を実施する。1年次末から2年次の春のモジュールにおいて、修士論文構想発表会を実施し、研究の方向性や1年次の学修成果についてのアセスメントを実施する。2年次には、2回程度の修士論文中間指導会を実施し、研究の進捗状況についてアセスメントを実施する。2年次末には、各授業で実施された評価と1月に提出される修士論文、及び、研究活動の学修成果に関する最終試験（口頭試問）の結果を総合的に評価することで、ディプロマ・ポリシーで掲げた9つのコンピテンスの獲得状況について判断する。</p>	
アドミッション・ポリシー		
求める人材	<p>教育学学位（博士前期課程）プログラムでは、国内外の大学・研究機関等において教育学諸分野の教育・研究に従事する研究者を志す人材に加え、国内外の行政機関・国際機関等で教育学の学術的アプローチを用いて教育政策の効果分析、政策形成、教育開発援助等に従事する研究力のある高度専門職業人や、国内外の教育行政機関、学校、社会教育・生涯学習機関、NPO等の教育関連組織等で教育活動や人材育成をリードする研究力のある高度専門職業人を志す人材を募集する。教育学部等における教育学</p>	

	<p>研究の経験者や教員養成系の学部等で職業人としての教員の資質・能力を獲得した者はもちろん、理学部や人文・社会学部などで培った高度な専門性と教育という人間の基礎的な営みとの関係に関心のある者や、学校に限定されない広範な人間のコミュニティにおける教育活動に関心のある者も、入学可能である。</p>
<p>入学者選抜方針</p>	<p>入学試験は専門試験、専門外国語試験（英語）、口述試験を基本とし、社会人特別選抜や留学生対象の英語による試験を設け、様々な学びの形態をサポートする。各試験科目の結果を総合的に評価し、適性を審査する。</p>

# 人間総合科学学術院人間総合科学研究群

## 教員研究分野一覧(博士前期課程)

### <教育学学位プログラム> 教育基礎科学サブプログラム

研究分野	教員名	研究内容
教育哲学	平井悠介	現代英米圏シティズンシップ教育論と社会的平等に関する研究
日本教育史	平田諭治	近代日本の教育とナショナリズム、オリエンタリズム、コロニアリズム
生涯学習・社会教育学	上田孝典	アジア教育比較研究
教育制度学	藤井穂高	フランス教育制度、保育制度改革
教育計画論	大谷奨	教育制度整備過程の研究、学校設置者論
比較・国際教育学	タスタンベコワ・クアニシ	先住民、少数民族、移民の言語教育政策、多文化教育、中央アジア諸国の教育、国際機関の教育政策
学校経営学	浜田博文 佐藤博志	学校経営論、教師教育論、学校改善の研究 学校経営の国際比較研究、学校変革の理論と実際
カリキュラム	金玆辰	地理カリキュラムの国際比較研究、児童生徒の環境地図作成に関する研究、教育におけるケイパビリティ・アプローチ
教育社会学	徳永智子	移民と教育、マイノリティの教育支援、越境と多文化共生、エスノグラフィー
高等教育論	田中正弘	比較教育学・高等教育論（イギリス）
教育方法学	樋口直宏	授業研究、批判的思考論、小中一貫教育
道徳教育学	田中マリア	18世紀フランスの啓蒙思想家 J. J. Rousseau の教育思想について、その人格形成論における宗教と道徳の関係の把握、解明
キャリア教育学	藤田晃之	キャリア教育の比較研究（日・米・デンマーク） 教員養成制度研究
社会科教育学	井田仁康 唐木清志 國分麻里	地理教育の実証的研究、航空地理学、 ニュージーランド研究 公民教育 歴史教育、近現代日韓関係史教育
人文学科教育学	長田友紀 勝田光	コミュニケーション教育 読むことの学習指導、子どもの文学

数 学 教 育 学	清 水 美 憲 磯 田 正 美 小 松 孝 太 郎 蒔 苗 直 道	数学科授業の国際比較、数学的思考の認知的研究、 数学教育評価論、数学的リテラシー 数学的活動・数学化・数学的思考、数学史・テクノ ロジ利用に関する研究、教育課程・教科書の国際共 同開発研究、学習指導と評価の研究 学校数学における証明、課題設計、ICT の利用 数学教育史、戦後改革期の単元学習
理 科 教 育 学	遠 藤 優 介 山 本 容 子	理科教育目的論、ドイツ科学教育論 生物教育、環境教育論
外 国 語 教 育 学	名 畑 目 真 吾	英語教育学、応用言語学、英文読解、小学校英語
特 別 活 動 学	京 免 徹 雄	特別活動の国際化、 特別活動・キャリア教育・生徒指導の日仏比較 シティズンシップ教育としてのキャリア教育

## 教育課程等の概要

(人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 博士前期課程／修士課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
門学 基盤院 科目通 専	心理統計学特講	1・2前		2		○		
	教育学理論研究	1・2前		1		○		
	次世代教育開発研究	1・2前		1		○		
	Theory of International Education	1・2後		1		○		
	小計 (31科目)	—	0	36	0	—		
教育 学関 連科 目	専 門 基 礎 科 目	日本教育史特講	1・2通	2		○		
		日本教育史演習	1・2通	2			○	
		教育哲学特講	1・2通	2		○		
		教育哲学演習	1・2通	2			○	
		生涯学習・社会教育学特講	1・2通	2		○		
		生涯学習・社会教育学演習	1・2通	2			○	
		教育制度学特講	1・2通	2		○		
		教育制度学演習	1・2通	2			○	
		学校経営学特講	1・2通	2		○		
		学校経営学演習	1・2通	2			○	
		比較・国際教育学特講	1・2通	2		○		
		比較・国際教育学演習	1・2通	2			○	
		道德教育学特講	1・2通	2		○		
		道德教育学演習	1・2通	2			○	
		カリキュラム論特講	1・2通	2		○		
		カリキュラム論演習	1・2通	2			○	
		教育方法学特講	1・2通	2		○		
		教育方法学演習	1・2通	2			○	
		キャリア教育学特講	1・2通	2		○		
		キャリア教育学演習	1・2通	2			○	
		教育社会学特講	1・2通	2		○		
		教育社会学演習	1・2通	2			○	
		高等教育論特講	1・2通	2		○		
		高等教育論演習	1・2通	2			○	
		特別活動学特講	1・2通	2		○		
		特別活動学演習	1・2通	2			○	
		学校教育論	1・2後	2		○		
		学校心理学	1・2前	2		○		
		スクールリーダーシップ論	1・2前	2		○		
		青年の発達	1・2前	2		○		
		国際・多文化教育論	1・2後	2		○		
		生涯学習論	1・2前	2		○		
		道德と人権	1・2後	2		○		
		心理教育的アセスメント	1・2前	2				○
		スクールカウンセリング実習I	1・2通	2				○
		スクールカウンセリング実習II	1・2前	2				○
		学校の社会学	1・2前	2		○		
		学校安全と危機管理	1・2前	2			○	
		学校経営事例研究	1・2前	2		○		
		学習指導と授業	1・2後	2		○		
学習と学級の心理	1・2後	2		○				
学校臨床心理	1・2後	2		○				
教育臨床学特講	1・2通	2		○				
教育臨床学演習	1・2通	2			○			
国語科教育学a	1・2前	1		○				
国語科教育学b	1・2後	1		○				
国語科教育史研究 a	1・2前	1		○				
国語科教育史研究 b	1・2後	1		○				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
	国語科教育実践論研究 a	1・2前		2			○	
	国語科教育実践論研究 b	1・2後		1			○	
	表現教育論a	1・2前		1		○		
	表現教育論b	1・2後		1		○		
	文学教育論a	1・2前		1		○		
	文学教育論b	1・2後		1		○		
	古典教育論 a	1・2前		1		○		
	古典教育論 b	1・2後		1		○		
	国語科リテラシー教育論 a	1・2前		1		○		
	国語科リテラシー教育論 b	1・2後		1		○		
	国語教育特講	1・2後		1		○		
	国語科研究法	1・2通		3		○		
	国語科研究法演習	1・2通		3			○	
	社会日本語論 I a	1・2前		1		○		
	社会日本語論 I b	1・2後		1		○		
	社会日本語論 II a	1・2前		1		○		
	社会日本語論 II b	1・2後		1		○		
	古典日本語論 I a	1・2前		1		○		
	古典日本語論 I b	1・2後		1		○		
	古典日本語論 II a	1・2前		1		○		
	古典日本語論 II b	1・2後		1			○	
	現代日本語論 I a	1・2前		1		○		
	現代日本語論 I b	1・2後		1		○		
	現代日本語論 II a	1・2前		1		○		
	現代日本語論 II b	1・2後		1		○		
	日本文学研究 I a	1・2前		1		○		
	日本文学研究 I b	1・2後		1			○	
	日本文学研究 II a	1・2前		1		○		
	日本文学研究 II b	1・2後		1			○	
	日本文学演習 I a	1・2前		1			○	
	日本文学演習 I b	1・2後		1			○	
	日本文学演習 II a	1・2前		1			○	
	日本文学演習 II b	1・2後		1			○	
	日本文学表現論a	1・2前		1		○		
	日本文学表現論b	1・2後		1			○	
	中国文学研究a	1・2前		1			○	
	中国文学研究b	1・2後		1			○	
	中国文学演習 a	1・2前		1			○	
	中国文学演習 b	1・2後		1			○	
	社会科教育学特講	1・2通		2		○		
	社会科教育学内容論 (地理歴史)	1・2前		3		○		
	社会科教育学内容論 (公民)	1・2前		3		○		
	社会科教育学実践論 (地理歴史)	1・2後		3			○	
	社会科教育学実践論 (公民)	1・2後		3			○	
	地理教育特講 I	1・2前		1		○		
	地理教育特講 II	1・2後		1		○		
	地理教育特講 III	1・2通		1		○		
	地理教育演習 I	1・2前		1			○	
	地理教育演習 II	1・2後		1			○	
	地理教育演習 III	1・2通		1			○	
	歴史教育特講 I	1・2前		1		○		
	歴史教育特講 II	1・2後		1		○		
	歴史教育特講 III	1・2通		1		○		
	歴史教育演習 I	1・2前		1			○	
	歴史教育演習 II	1・2後		1			○	
	歴史教育演習 III	1・2通		1			○	



科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習
	歴史教育学特講	1・2後		2				○
	公民教育特講Ⅰ	1・2前		1		○		
	公民教育特講Ⅱ	1・2後		1		○		
	公民教育特講Ⅲ	1・2通		1		○		
	公民教育演習Ⅰ	1・2前		1			○	
	公民教育演習Ⅱ	1・2後		1			○	
	公民教育演習Ⅲ	1・2通		1			○	
	人文地理学特講Ⅰ	1・2前		1		○		
	人文地理学特講Ⅱ	1・2後		1		○		
	人文地理学演習Ⅰ	1・2前		1			○	
	人文地理学演習Ⅱ	1・2後		1			○	
	自然地理学特講Ⅰ	1・2前		1		○		
	自然地理学特講Ⅱ	1・2後		1		○		
	自然地理学演習Ⅰ	1・2前		1			○	
	自然地理学演習Ⅱ	1・2後		1			○	
	地理学野外実験	1・2後		3				○
	日本史特講Ⅰ	1・2前		1		○		
	日本史特講Ⅱ	1・2後		1		○		
	日本史演習Ⅰ	1・2前		1			○	
	日本史演習Ⅱ	1・2後		1			○	
	民俗学実習	1・2後		3				○
	考古学特講Ⅰ	1・2前		1		○		
	考古学特講Ⅱ	1・2後		1		○		
	考古学演習Ⅰ	1・2前		1			○	
	考古学演習Ⅱ	1・2後		1			○	
	考古学実習	1・2前		3				○
	社会学特講Ⅰ	1・2前		1		○		
	社会学特講Ⅱ	1・2後		1		○		
	社会学演習Ⅰ	1・2前		1			○	
	社会学演習Ⅱ	1・2後		1			○	
	政治学特講Ⅰ	1・2前		1		○		
	政治学特講Ⅱ	1・2後		1		○		
	政治学演習Ⅰ	1・2前		1			○	
	政治学演習Ⅱ	1・2後		1			○	
	経済学特講Ⅰ	1・2前		1		○		
	経済学特講Ⅱ	1・2後		1		○		
	経済学演習Ⅰ	1・2前		1			○	
	経済学演習Ⅱ	1・2後		1			○	
	法学特講Ⅰ	1・2前		1		○		
	法学特講Ⅱ	1・2後		1		○		
	法学演習Ⅰ	1・2前		1			○	
	法学演習Ⅱ	1・2後		1			○	
	哲学特講Ⅰ	1・2前		1		○		
	哲学特講Ⅱ	1・2後		1		○		
	哲学演習Ⅰ	1・2前		1			○	
	哲学演習Ⅱ	1・2後		1			○	
	倫理学特講Ⅰ	1・2前		1		○		
	倫理学特講Ⅱ	1・2後		1		○		
	倫理学演習Ⅰ	1・2前		1			○	
	倫理学演習Ⅱ	1・2後		1			○	
	基礎数理学A	1・2前		1		○		
	基礎数理学B	1・2後		1		○		
	基礎数理学C	1・2後		1		○		
	総合数理学A	1・2前		1			○	
	総合数理学B	1・2後		1			○	
	総合数理学C	1・2後		1			○	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習
	現代数学基礎A	1・2前		1		○		
	現代数学基礎B	1・2後		1		○		
	現代数学基礎C	1・2後		1		○		
	現代数学特別研究A	1・2前		1			○	
	現代数学特別研究B	1・2後		1			○	
	現代数学特別研究C	1・2後		1			○	
	現代数学特別研究D	1・2前		1			○	
	現代数学特別研究E	1・2後		1			○	
	現代数学特別研究F	1・2後		1			○	
	数学教育研究方法論	1・2前		2		○		
	数学教育学習論	1・2後		2		○		
	数学教育カリキュラム論	1・2後		2		○		
	数学教育内容論	1・2前		2		○		
	数学教育実践論演習（代数・幾何）	1・2前		2			○	
	数学教育実践論演習（解析・確率統計・ICT利用）	1・2後		2			○	
	理科教育基礎論	1前		2		○		
	理科教育学演習	1後		2			○	
	理科教育学習論	1・2前		1		○		
	理科教育研究方法論	1通		1		○		
	理科教育実践演習	1・2後		1			○	
	基礎物理学1	1・2前		1		○		
	基礎化学1	1・2前		1		○		
	基礎生物学1	1・2前		1		○		
	基礎地学1	1・2前		1		○		
	基礎物理学2	1・2後		1		○		
	基礎化学2	1・2後		1		○		
	基礎生物学2	1・2後		1		○		
	基礎地学2	1・2前		1		○		
	理科教育実験1	1・2前		2				○
	理科教育実験2	1・2後		2				○
	物理学教育実験	1・2後		1				○
	化学教育実験	1・2後		1				○
	生物学教育実験	1・2前		1				○
	地学教育実験	1・2前		1				○
	地学教育野外実験1	1・2前		1				○
	地学教育野外実験2	1・2前		1				○
	理科野外実習インターンシップ	1・2前		2				○
	物理学特講	1・2通		1		○		
	化学特講	1・2前		1		○		
	生物学特講	1・2通		1		○		
	地学特講	1・2後		1		○		
	理科教育学特講	1・2後		1		○		
	英語教育研究方法論	1・2前		2		○		
	英語教育学習論	1・2後		2		○		
	英語教育内容論	1・2前		2		○		
	英語教育実践論	1・2後		2		○		
	芸術科教育特講A	1・2前		1		○		
	芸術科教育特講B	1・2後		1		○		
	芸術科教育実践論演習A	1・2前		1			○	
	芸術科教育実践論演習B	1・2後		1			○	
	芸術鑑賞論A-1	1・2前		1		○		
	芸術鑑賞論A-2	1・2後		1		○		
	芸術鑑賞論B-1	1・2前		1		○		
	芸術鑑賞論B-2	1・2後		1		○		
	保健体育教育内容論	1・2通		3		○		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
	保健体育教育実践論演習Ⅰ	1後		1			○	
	保健体育教育実践論演習Ⅱ	2前		1			○	
	保健体育教育実践論演習Ⅲ	2前		1			○	
	保健体育カリキュラム論	1・2前		1		○		
	保健体育授業づくり論	1・2後		1		○		
	Education and an Interconnected World	1・2前		2		○		
	Research Methodology	1・2前		1		○		
	Research Design and Methods	1・2前		2		○		
	Pedagogy for a Changing World I	1・2前		2		○		
	Pedagogy for a Changing World II	1・2後		2		○		
	Assessment for Learning I	1・2前		2		○		
	Assessment for Learning II	1・2後		2		○		
	Curriculum as Process I	1・2前		2		○		
	Curriculum as Process II	1・2後		2		○		
	The IB Primary Years Programme	1・2後		2		○		
	The IB Middle Years Programme	1・2後		2		○		
	The IB Diploma Programme	1・2後		2		○		
	Professional Learning and Reflective Practice	1・2前		1		○		
	Field Research	1・2前		1			○	
	国際理解教育論	1・2後		2		○		
	グローバル化と教育	1・2後		2		○		
	国際教育開発論	1・2前		2		○		
	国際教育協力論	1・2前		2		○		
	教員養成の国際比較	1・2前		2		○		
	Education in Japan: Principles Policies and Practice I	1・2前		1		○		
	Education in Japan: Principles Policies and Practice II	1・2前		2		○		
	初等国語特講A	1・2前		1		○		
	初等国語特講B	1・2後		1		○		
	初等社会特講	1・2前		1		○		
	初等数学特講	1・2後		1		○		
	初等理科特講	1・2後		1		○		
	初等英語特講	1・2後		1		○		
	初等図画工作特講	1・2後		1		○		
	初等体育特講	1・2後		1		○		
	小計 (249科目)		0	348	0		—	
専門科目	教育学研究Ⅰ	1通		3			○	
	教育学研究Ⅱ	2通		3			○	
	教育学研究Ⅲ	2通		3			○	
	次世代教育研究Ⅰ	1通		3			○	
	次世代教育研究Ⅱ	2通		3			○	
	次世代教育研究Ⅲ	2通		3			○	
	国語教育学研究Ⅰ	1通		3			○	
	国語教育学研究Ⅱ	2通		3			○	
	国語教育学研究Ⅲ	2通		3			○	
	地理教育学研究Ⅰ	1通		3			○	
	地理教育学研究Ⅱ	2通		3			○	
	地理教育学研究Ⅲ	2通		3			○	
	歴史教育学研究Ⅰ	1通		3			○	
	歴史教育学研究Ⅱ	2通		3			○	
	歴史教育学研究Ⅲ	2通		3			○	
	公民教育学研究Ⅰ	1通		3			○	
	公民教育学研究Ⅱ	2通		3			○	

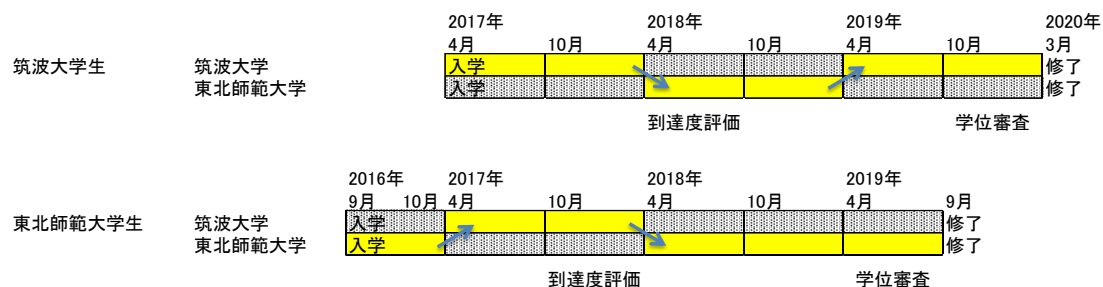
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習
	公民教育学研究Ⅲ	2通		3			○	
	数学教育学研究Ⅰ	1通		3			○	
	数学教育学研究Ⅱ	2通		3			○	
	数学教育学研究Ⅲ	2通		3			○	
	理科教育学研究Ⅰ	1通		3				○
	理科教育学研究Ⅱ	2通		3				○
	理科教育学研究Ⅲ	2通		3				○
	英語教育学研究Ⅰ	1通		3			○	
	英語教育学研究Ⅱ	2通		3			○	
	英語教育学研究Ⅲ	2通		3			○	
	芸術科教育学研究Ⅰ	1通		3			○	
	芸術科教育学研究Ⅱ	2通		3			○	
	芸術科教育学研究Ⅲ	2通		3			○	
	保健体育教育学研究Ⅰ	1通		3			○	
	保健体育教育学研究Ⅱ	2通		3			○	
	保健体育教育学研究Ⅲ	2通		3			○	
	国際教育学研究Ⅰ	1通		3			○	
	国際教育学研究Ⅱ	2通		3			○	
	国際教育学研究Ⅲ	2通		3			○	
	International Baccalaureate Education Graduate Seminar I	1通		3			○	
	International Baccalaureate Education Graduate Seminar II	2通		3			○	
	International Baccalaureate Education Graduate Seminar III	2通		3			○	
	小計 (39科目)	—	0	117	0		—	

## 東北師範大学とのダブルディグリー・プログラムについて

平成 29 年度から東北師範大学との間でダブルディグリー・プログラムを開始している。  
交換学生数は各大学 3 名を上限とし、受け入れ側の大学で 1 年間修学する。

筑波大学生の場合、このプログラムに参加して修了要件を満たすことで筑波大学から授与される修士（教育学）に加えて、東北師範大学から修士（文学）、修士（法学）、修士（教育学）のいずれかを授与される。

### ダブルディグリー・プログラムの学事暦



修士論文の題目（過去3年間）

題 目	専門研究領域
<b>令和3年度</b>	
新アリストテレス主義的徳倫理学に基づく徳の発達論 —諸徳間の相互作用によるダイナミズムに着目して—	教育哲学
I. M. ヤングの差異の政治思想の教育哲学的意義 —思想形成過程におけるフェミニスト現象学と民主主義論の関連性に着目して—	教育哲学
地域住民組織によるまちづくりの活動と学びに関する研究 —つくば市の自治会を事例に—	生涯学習・社会教育学
パターンリズムの正当化原理を備えたキャリア教育概念の構築 —アマルティア・センのケイパビリティ・アプローチの自由概念に焦点を当てて—	キャリア教育学
英語教育政策の評価における民間試験活用の正当性 —中高英語教育の実施調査の分析を通して—	比較・国際教育学
中国の高等学校におけるキャリア・カウンセリングの課題と展望 —生徒の多様なニーズへの対応に着目して—	特別活動学
社会科教師はどのような社会的事象をいかに教材化するのか —複線経路等至性アプローチによる授業観の形成過程の分析を通して—	社会科教育学
<b>令和2年度</b>	
イギリスのインクルーシブ教育における通常学校の条件整備に係る立法過程の分析 —1981年教育法・1993年教育法・2014年子どもと家族法を対象として—	教育制度学
多文化共生社会における外国人労働者の教育に関する研究 —日本語教室の視点から—	生涯学習・社会教育学
新型コロナウイルス感染症を契機にした高齢者教育の展開に関する研究 —新しい「つながり方」の創出に着目して—	生涯学習・社会教育学
卒業生の母校支援活動が大学にもたらす影響 —卒業生の排他性と彼／彼女らの大学自治への過干渉をいかに回避するか—	高等教育論
中日の中学校の古典学習における意欲の向上についての比較研究 —『論語』の学習を例として—	人文科教育楽
韓国中学校におけるキャリア教育の推進体制 —自由学期における進路進学相談教師によるカリキュラム・マネジメントに焦点をあてて—	キャリア教育学
サービス・ラーニングにおけるパートナーシップに関する研究 —社会科教育における社会参加の評価の在り方—	社会科教育学
韓国の初等学校における歴史学習と歴史系博物館の関係に関する研究 —教育課程・教科書・展示内容に着目して—	社会科教育学
地域住民の学校参加に関する研究 —学校運営協議会における参加の保障を中心に—	教育制度学
<b>令和元年度</b>	
幼年期を対象とした初等教育教員の専門性に関する研究 —1920年代のアメリカにおける議論と養成カリキュラムに着目して—	学校経営学
現代日本における学校参加の変容と地域住民による認識の実態 —人口減少が進行する小・中学校区の事例を中心に—	学校経営学
中国貧困地域の公立学校における「校本教研」の展開と課題に関する研究 —二つの学校の事例分析を中心に—	学校経営学
中国の学校集団化運営に関する研究 —政策分析と事例研究を中心に—	学校経営学
STEM分野の学士課程英語プログラムに関する実証的研究 —学生の教育背景に起因する課題に着目して—	高等教育論
米国オハイオ州における学習の転移を基盤とした「キャリア開発プログラム」の特質 —1980年代の全米的教育改革との関係性に着目して—	キャリア教育学
キャリア教育の視点から捉えたレリバンスの構成要素の再検討 —計量テキスト分析を通して—	キャリア教育学
ドイツ前期中等教育段階ギムナジウムにおける職業・進学指導のための学校・企業間連携 —バーデン＝ヴュルテンベルク州内の組織間媒介組織の役割に着目して—	キャリア教育学
カンボジアの小学校におけるキャリア形成支援 —キャリアカウンセリングとガイダンスに対する実施主体の価値観、実施状況、課題についての検討—	キャリア教育学
デンマークにおける早期離学者に対する移行支援に関する研究 —若年者移行支援専門機関を中心とする多機関連携のあり方に着目して—	キャリア教育学
数学教育におけるジェンダー化された数学的アイデンティティに関する研究	数学教育学
中学校段階におけるスクールカーストの形成プロセスの検討 —M-GTAを用いた質的分析を通じて—	共生教育学
多元社会論における「国民」概念の更新の可能性と条件 —間文化主義 (L'interculturalisme) の教育理論への接続に着目して—	共生教育学
「いのちの教育」の再考 —仏教における唯識の死生観からの捉え直しを通して—	道德教育学
中国教育援助NGOにおけるボランティアの組織と学習活動 —NGO組織「新公民計画」を事例に—	生涯学習・社会教育学

## **修了生の進路（過去3年間）】**

### **【令和3年度】**

博士後期課程進学 4名、その他 3名

### **【令和2年度】**

博士後期課程進学 4名、その他 5名

### **【令和元年度】**

博士後期課程進学 10名、その他 8名